



なごや環境大学 2019 年後期 一般市民向け技術士会愛知県支部環境講座

「楽しく」「わかりやすく」「面白く」地球環境の将来を語り合うタベ

第 1 回 自然災害と防災・減災

主催：公益社団法人日本技術士会中部本部愛知県支部

日時：令和 1 年 10 月 8 日(火) 19:00～20:30

場所：名古屋学院大学キャンパスたいほう 恵館 303 室

(地下鉄日比野駅 1 番出口から徒歩 10 分)

会費：1,000 円

講師：長谷川 欽一 (技術士：経営工学部門・防災マイスター)

内容

No	項目	内容
1	全体の概要	最近多発している異常気象等による自然災害は異常高温、大雨、日照不足、冷夏などの通常とは異なる気象が原因であるが、急激な気象の変化にいかに対応したらよいか、事例を紹介して地域に密着した防災・減災対応策を考える。
2	自然災害とは	日本の法令上では「自然災害」は「暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火その他の異常な自然現象により生ずる被害」と定義されている（被災者生活再建支援法 2 条 1 号）。 また異常気象は世界気象機関(WMO)の定義では、30 年に 1 回起きるような極値、つまり気温ならば 30 年に 1 回起きるような高温や低温を、雨ならば 30 年に 1 回起きるような大雨や強い雨をいう。
3	気候変動のもたらす自然災害と異常気象の種類	異常気象が、人的被害を伴う「自然災害」に発展したり、災害が拡大したりするには、現地の社会条件が大きな影響を及ぼす。また、気候変動のもたらす自然災害・異常気象の種類について紹介する。
4	春日井市における防災：減災事例	春日井市内の内津川の堤防決壊による洪水災害とその対策がどのように行われたかを実際の事例を交えて紹介する。
5	名古屋市天白区における防災：減災教育	名古屋市天白区为天白川・植田川に面した小学校における生徒に対する防災・減災対策教育の事例を踏まえて紹介する。